

# 大阪浪華錫器

## 【産地組合】錫器事業協同組合

### （産地紹介）

錫器が日本に伝えられたのは、今から約 1300 年程前、遣隋使の手によるものと言われていました。鎌倉時代初期に栄西が現在の中国の宋に渡り、茶壺作り職人を連れて来たのが錫職人のルーツとも言われています。江戸時代の中期に大阪に産地が形成されました。

鑄造により出来上がったものをロクロで削り仕上げるといった、昔ながらの伝統的な技法によって酒器、茶器、花瓶、神仏具を生産しています。

錫は安定の良い金属です。イオン効果が大きく水の浄化作用があり、微妙なうまみを損なわないため、酒器や花瓶にも適しています。気密性があるため高温多湿のところでも湿気を防ぐことが出来、お茶などの保存性が高く茶筒に向いています。

昔ながらの技法で製作していますが、時代による生活様式の変化に合わせ、現代のライフスタイルに適応できる新しい製品も順次開発しています。

